

## 倫理委員会議事要旨

令和1年9月19日

申請者	看護師 石川 愛菜
研究課題名	ALS・肺癌を疾患に持ち、終末期を迎えた患者の看護の必要性
研究の目的及び概要	死をイメージした終末期患者に対して、言葉や家族の思いを振り返り、終末期を迎えた患者の看護の必要性について明らかにする。
審査結果	承認

申請者	看護師 中野 健太
研究課題名	意思決定できずに人工呼吸器を装着したALS患者の家族への看護
研究の目的及び概要	意思決定できずに人工呼吸器を装着したことを受け入れることは、非常につらいことであるが、それを支える家族の心理的な苦痛も大きいと考えられる。そのため意思決定できずに人工呼吸器を装着したALS患者の家族への関わりを明らかにする。
審査結果	承認

申請者	看護師 濱野 由希
研究課題名	呼吸困難感が強くベッド上座位で長時間過ごす筋強直性ジストロフィー患者の苦痛緩和への看護介入
研究の目的及び概要	呼吸困難感が強くベッド上座位で長時間過ごす筋強直性ジストロフィー患者に対して体位変換やポジショニング等のケアを検討し、苦痛なく生活できるような援助について明らかにする。
審査結果	継続審査

令和1年9月19日

申請者	看護師 久米 和香
研究課題名	退院調整の必要な結核患者と家族への退院支援 ～支援者がおらず、コミュニケーションの取りにくい患者・家族に対する退院支援の事例から～
研究の目的及び概要	患者、家族が希望した自宅退院に向けて、家族に介護技術の習得をしてもらい、社会資源を活用するなどして環境が整い自宅退院が可能となった。看護師や多職種などのような関わりによって自宅退院が可能となったのを明らかにする。
審査結果	承認

申請者	看護師 宮武 杏奈
研究課題名	家に帰りたいという想いに寄り添って ～人工呼吸器離脱患者との関わり～
研究の目的及び概要	家に帰りたいという患者の思いを叶えるため、自宅への外出に向けて家族への指導・教育を行い、思いの変化や安全な医療手技習得の理解度を分析し看護介入が効果的であったかを明らかにする。
審査結果	承認

申請者	看護師 秦 彩恵	
研究課題名	食事への欲求が強い糖尿病患者の継続した自己管理に対する介護介入	
研究の目的及び概要	血糖コントロール目的で3週間入院した患者の「ほんとはいけないとわかっているけど続かない」という思いを踏まえ、患者に入院時から外来へ継続的に関わることで、患者の心理状態に合わせた行動変容について明らかにする。	
審査結果	承認	